

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 重心児デイサービスエンゼル

公表日 令和8年2月16日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			・マットの利用児が多い日は十分なスペースを取れないことがある。ベッドやマットの配置の工夫をし、できるだけ安全に過ごせるよう工夫している。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			・送迎の時間帯、職員の欠勤等で職員数が足りないと感じることがある。安全なケアができる職員配置ができるよう心がけていく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		補助便座などを使用し、できるだけ自宅に近い環境での工夫をしています。	補助便座などを使用し、できるだけ自宅に近い環境での工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・利用児に合わせて環境を変えている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○	・パーテーションなどを使用し、プライバシーに配慮している。	・個別の部屋は設けられていない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・毎月のミーティングで業務改善について職員の意見交換をしている ・毎月職員ミーティングが行われ、目標や振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・自己評価表、モニタリング等で保護者に意向の確認をし、業務改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月1回のミーティングの開催	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・外部による評価は行われていない。今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・職員全員で医療的ケア児等支援者養成研修を受けている。 ・月に1回のミーティングで研修の機会を設けている。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページに公表している。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・定期的に保護者との面談を実施しており、要望を取り入れた計画づくりをしている。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児発管だけでなく、保育士、児童指導員、看護師、理学療法士が協働し支援している。 ・担当を分けて計画しており、担当月に職員ミーティングで情報共有している。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・日々の記録も、計画書に沿った評価を行っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・遠城寺式乳幼児分析的発達検査等を用いて、発達の評価を行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・設定されている。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ミーティング等で活動内容の意見交換を行っている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間計画を立て、活動が固定化されないように工夫している。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・ケアの時間等も配慮し、個別、集団活動の計画を立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝のミーティングでその日の支援や分担を把握している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・終了後ではなく翌日に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・個別支援計画に沿った日々の記録を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・事前に職員から聞き取りもを行い、児童発達責任者が担当者会議に参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・保護者を通して医療からの情報を得ている。 ・必要に応じて、主治医や訪問看護、学校等とも積極的に連携をとっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・学校や他事業所と支援内容、方法等の情報交換を適宜行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・送迎時や担当者会議で情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		・センターとして助言をいただいたことはない。今後機会があれば、ぜひアドバイス等いただきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○	・保育園で開催のヒーローショーを見に行った。また、このような機会を増やしていきたい	・地域の中で他の子供と交流する機会も必要と感じる ・重度の利用者も多く難しい ・地域との子どもとの交流機会はほとんどない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時や連絡帳アプリ、写真を使い、日々の様子などをわかりやすくお伝えできるように工夫している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	・研修など保護者向けに行っていないが、日ごろから情報提供を行っている。	・保護者会は行っているが研修会は行っていない。今後は保護者のニーズの聞き取りを行い研修会も企画していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・利用開始時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者から聞き取りを行い、計画に反映できるよう努めている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・面談や送迎時に計画書の説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送迎時定期的な面談等でよく話をし、悩みなどに必要な助言、支援ができるよう心がけている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者会やクリスマス会で交流する場を設けている。	・親参加の行事も年2回、保護者会1回行われたが、交流までの支援ができるとなおよ
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの相談等あった場合、適切な専門職が返答できるよう対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		おたよりやSNSを使用して発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・同意書をとり、配慮している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・連絡帳アプリやLINEなども用いて、コミュニケーションが取りやすいよう配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・感染症の心配もあり、地域との交流は行っていなかったが、時期、感染対策等の工夫をし、地域の方々と触れ合える機会を作っていきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・	・各マニュアルは作成済、保護者への周知を徹底し、保護者も一緒に訓練に参加できるよう企画していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・定期的に訓練を行い、見直しを行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・年に1回のアセスメントシートの見直しにて、確認を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		・アレルギーの確認は保護者から行っているが、医師からの指示はない。保護者からの持参、許可を得たもの以外、事業所では提供していない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画を作成。研修、訓練を適宜行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・保護者への周知が不十分であった。保護者会等で周知できるようにしていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・月に1回のミーティングで ヒヤリハット、インシデントの振り返りをしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止研修を年に2回行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・身体拘束の計画、評価を行い、同意を得て、児童発達支援計画に記載している。		